

## 平成22年 新春産学官交流会



石橋会長 挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は百年に一度という不況のなかで年が明けまして、そのままの形で、終わったような気がします。そういう状況の中でもアメリカでは、オバマ大統領という黒人の大統領が就任をされ、世界中に話題をまきました。国内では政権交代が行われ、大変な話題となり、長崎では、福山雅治さんが、コンサートで話題となりましたが、今年は坂本龍馬へ変身をして頂いての再登場となり、大変期待も高まっている状況でございます。

こういう中で、今期、長崎県様からは中小企業団体中央会様を通して県下の中小企業のネットでの拡販策に対するの支援、長崎市様からは市内の中小製造業者に対するホームページ作成の費用援助の補助事業を頂きました。それから県の方から援助頂いています研修事業ですが、前年度に続きまして200名以上を目標にしていたが、今年度もすでに248名の受講者となり確実に効果が出ています。どうか来年度も続けて頂きますよう重ねてお願ひ申し上げる次第です。

昨年、この不況のなかで、私が新聞を読んで、印象に残った記事がありましたので、ご紹介をしたいと思います。タイトルが『日本経済の付加価値創出 自動車よりもITが有効』という総務省の分析結果の新聞記事です。「総務省は、日本経済の付加価値を向上するには、自動車などの製造業の比重を高めるよりも情報通信産業を伸ばした方が有効との分析をまとめた。」というような我々も自信もてるような記事でございます。

最後に、私の初夢をちょっとだけ話させていただきます。

それは日経新聞のインタビュー記事で、タイトルは「ハブ空港は、九州に」です。「日本のハブ空港は羽田でなく、九州が適地だ。福岡からだと北京、上海、ソウル、台北は1時間で結ばれます。欧州の主要都市の移動時間と遜色なくなります。」ということです。しかし、福岡空港の拡張はそう簡単ではないので、更に西に位置する長崎空港がハブ空港となるのが一番だろうなと思いました。いま問題になっている新幹線も、ハウステンボスの問題も即解決するであろうと思います。坂本龍馬が今生きておれば、多分同じようなことを考えるであろうと思った次第です。来月は長崎も新しい知事が誕生します。是非、新しい知事にこういうことを推進して頂ければいいなと思い披露させて頂きました。



上村部長



川口部長

長崎県産業労働部 上村部長様、長崎市商工部 川口部長様からは、ご来賓挨拶の中で、県及び市の施策、当情報産業協会との連携強化、人材育成等について、熱く語って頂きました。長崎県総務部山口部長様の乾杯ご発声前の挨拶で、企業のチャレンジに対する支援や環境負荷を低減し、ランニングコストを下げる次世代型新庁舎についてのお話などを頂き、『新年度、当協会の益々の発展と産学官連携でシーズが育ち、情報発信ができて、にこやかに来年この交流会が迎えられること』を祈念して、参加者全員で杯を上げました。



交流会風景

## 「我が社の一押し」



坂尾氏

大家氏

### ■エコー電子工業株式会社

大家 上席主任様よりリサイクル事業における流れ(解体・処分)とグリーンエネルギーの利用の紹介、更にリユース事業におけるPCリユースによるCO2削減効果を中心に説明を頂きました。

### ■ケービーソフトウェア株式会社

坂尾 課長様、伊原 営業担当様より大学病院との共同研究によって生まれたシステムー「アフターインシデント」一について医療事故削減に有用な機能及び特徴についての説明を頂きました。

## 新春講演会



藤原氏

今回の新春講演会では、三菱電機株式会社 グリーンIT ビジネス推進センターの藤原センター長様より、三菱電機のグリーンIT(CO2 削減)への取り組みについて講演頂きました。内容は、「グリーンITを巡る現状」として、温室効果ガス排出量の推移、エネルギー排出量削減の課題、改正省エネ法、東京都環境確保条例、IT関係の消費電力量の推移、IT関係の省エネに向けた政策・動向等、グリーンITの温暖化対策への貢献等を説明。「グリーンITソリューション」として、ITの省エネ “Green of IT”、ITによる省エネ “Green by IT”について、更に「三菱電機の地球温暖化対策への取り組み」として、オフィスでの事例、データセンターでの事例という具体的且つ興味深い内容について詳しくお話頂きました。

## 平成22年度研修スケジュール

最新情報は NSA Home Page をご覧下さい。



### 研修風景

#### [区分]:初級 SE 教育(新人から入社3年:100系)

- ・データベース技術の基礎(3日間) 4月 20・21・22日
- ・ネットワーク技術の基礎(2日間) 4月 15・16日
- ・プログラム基礎(2日間) 4月 13・14日
- ・Java プログラミング(3日間) 5月 25・26・27日
- ・システム設計技術(3日間) 5月 12・13・14日
- ・システム設計ワークショップ(3日間) 5月 17・18・19日
- ・JSPサーブレット入門(3日間) 4月 26・27・28日

#### [区分]:ヒューマン系(管理職リーダー対象:200系)

- ・ITプロフェッショナルのためのコミュニケーション(3日間) 6月 8・9・10日
- ・ITプロフェッショナルのためのネゴシエーション(3日間) 7月 14・15・16日
- ・成功プロジェクトのための段取り力(3日間) 8月 17・18・19日
- ・目標管理のブラッシュアップ(2日間) 9月 13・14日
- ・ポジティブマネジメント(2日間) 10月 7・8日
- ・ファシリテータ養成講座(2日間) 11月 25・26日
- ・プロジェクト管理(3日間) 12月 15・16・17日

#### [区分]:技術系(スペシャリスト:300系)

- ・VBによる.NETプログラミング(3日間) 6月 1・2・3日
- ・システム分析・設計(3日間) 7月 21・22・23日
- ・ネットワーク構築(3日間) 8月 25・26・27日
- ・ネットワークセキュリティ(2日間) 9月 7・8日
- ・OracleによるSQL応用(2日間) 10月 20・21日
- ・Java Webシステム(3日間) 11月 17・18・19日
- ・C#プログラミング(3日間) 12月 8・9・10日
- ・テストと品質(3日間) 1月 19・20・21日
- ・データベース設計(2日間) 2月 9・10日

発行元 : (社)長崎県情報産業協会  
長崎市興善町4-6-701  
電話:095-824-0332  
発行責任者 : 会長 石橋 洋志  
発行日 : 平成22年3月3日 第2版